

「企業経営者意識調査(平成30年1-3月)」の概要

平成30年5月8日
経済部経済企画局経済企画課

1 企業業況感等調査(調査数1,000社、回答数589社)

- 今期の業況感 BSI は、2期連続で下降。
(前期: $\Delta 8$ 今期: $\Delta 12$ 来期見通し: $\Delta 12$)
- 業種別では、建設業、サービス業で上昇、製造業、卸売・小売業、運輸業で下降。
- 地域別では、道南、オホーツク、釧路・根室で上昇、道央、道北、十勝で下降。
- 来期は横ばいの見通し。
業種別では建設業で下降、その他の業種で上昇の見込み。
地域別では道南、道北で上昇、十勝、釧路・根室で横ばい、道央、オホーツクで下降の見込み。
- 雇用者の不足感は、製造業、卸売・小売業、運輸業で上昇、建設業、サービス業で下降。
地域別では、道南、道北で上昇、その他の地域で下降。

※BSI指標は、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、「上昇企業の割合(%) - 下降企業の割合(%)」で算出。

(1) 業況感

ア 業種別業況感

【建設業】4ポイント上昇  (前期 +4 → 今期 +8)

- ・土木工事業や建築工事業がプラスに転換
- ・管工事業でマイナス幅が拡大、一般土木建築工事業や電気工事業でプラス幅が縮小

【製造業】1ポイント下降  (前期 $\Delta 6$ → 今期 $\Delta 7$)

- ・製材業、木製品製造業や電子デバイス製造業がマイナスに転換
- ・セメント・同製品製造業、建設用・建築用金属製品製造業などでプラス幅が拡大

【卸売・小売業】23ポイント下降  (前期 $\Delta 12$ → 今期 $\Delta 35$)

- ・各種食料品小売業がマイナスに転換
- ・農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業、自動車小売業などでマイナス幅が拡大

【運輸業】1ポイント下降  (前期 $\Delta 13$ → 今期 $\Delta 14$)

- ・一般貨物自動車運送業がマイナスに転換、倉庫業のプラス幅が縮小
- ・沿海海運業がプラスに転換、一般貸切旅客自動車運送業のプラス幅が拡大、一般乗用旅客自動車運送業のマイナス幅が縮小

【サービス業】3ポイント上昇  (前期 $\Delta 14$ → 今期 $\Delta 11$)

- ・旅館・ホテル業がプラスに転換、ソフトウェア業でプラス幅が拡大
- ・土木建築サービス業(測量業)がマイナスに転換、労働者派遣業でマイナス幅が拡大

イ 地域別業況感

【道南】4ポイント上昇  (前期 $\Delta 24$ → 今期 $\Delta 20$)

- ・一般貨物自動車運送業などでプラス幅が拡大、旅館・ホテル業などでマイナス幅が縮小
- ・製材業、木製品製造業がマイナスに転換、一般乗用旅客自動車運送業でマイナス幅が拡大

【道央】 3ポイント下降 (前期 $\Delta 6 \rightarrow$ 今期 $\Delta 9$)
 ・一般土木建築工事業、一般貨物自動車運送業や産業廃棄物処理業でプラス幅が縮小
 ・旅館・ホテル業、家具・建具・畳小売業や建築工事業がプラスに転換

《札幌市を除く》 3ポイント上昇 (前期 $\Delta 11 \rightarrow$ 今期 $\Delta 8$)
 ・旅館・ホテル業や一般貸切旅客自動車運送業がプラスに転換
 ・菓子・パン小売業がマイナスに転換、建築材料卸売業などでマイナス幅が拡大

《札幌市》 8ポイント下降 (前期 $\Delta 2 \rightarrow$ 今期 $\Delta 10$)
 ・発電用・送電用・配電用電気機械器具製造業がマイナスに転換、産業用機械器具賃貸業でプラス幅が縮小
 ・一般土木建築工事業、一般貨物自動車運送業、産業廃棄物処理業などでマイナス幅が拡大

【道北】 6ポイント下降 (前期 $\Delta 14 \rightarrow$ 今期 $\Delta 20$)
 ・一般貨物自動車運送業やセメント・同製品製造業、自動車小売業などでマイナス幅が拡大
 ・各種食料品小売業がマイナスに転換

【オホーツク】 4ポイント上昇 (前期 $\Delta 12 \rightarrow$ 今期 $\Delta 8$)
 ・旅館、ホテル業がプラスに転換、自動車整備業でプラス幅が拡大
 ・一般土木建築業がマイナスに転換、建築工事業や建築材料卸売業でマイナス幅が拡大

【十勝】 22ポイント下降 (前期 $+19 \rightarrow$ 今期 $\Delta 3$)
 ・一般土木建築工事業、一般貨物自動車運送業や旅館・ホテル業がマイナスに転換
 ・建築工事業、農畜産物・水産物卸売業や自動車小売業でマイナス幅が拡大

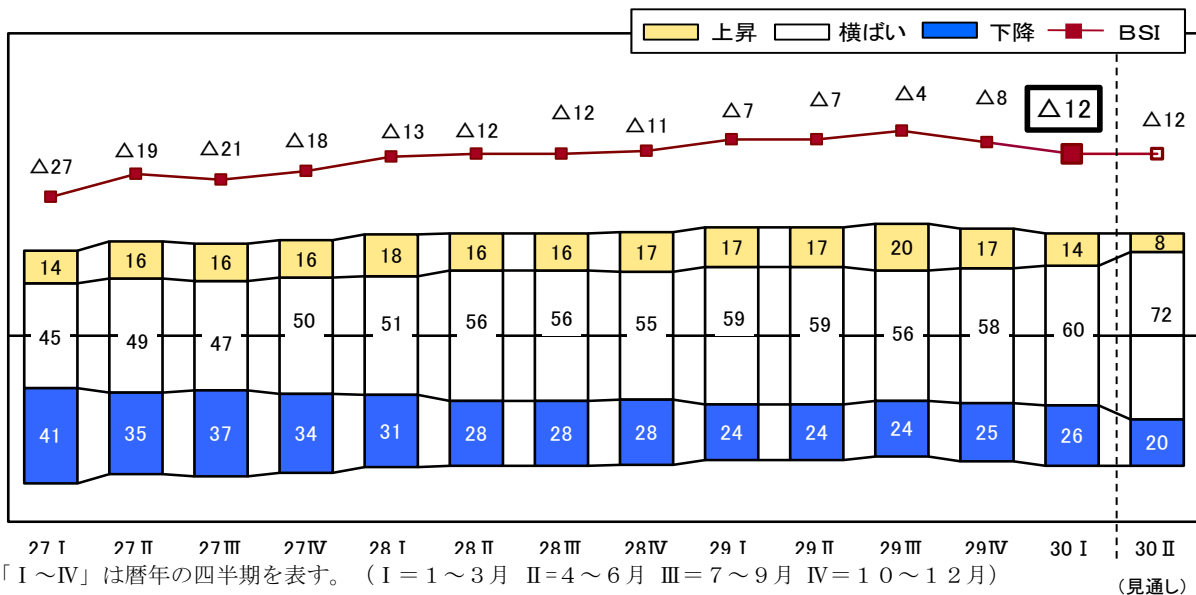
【釧路・根室】 1ポイント上昇 (前期 $\Delta 19 \rightarrow$ 今期 $\Delta 18$)
 ・一般土木建築工事業でプラス幅が拡大
 ・自動車小売業、水産食料品製造業や土木建築サービス業(測量業)でマイナス幅が拡大

業況感(業種・資本金・地域別)

区分	H29年 10-12月 実績BSI	H30年1-3月実績					H30年4-6月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総計	$\Delta 8$	14	60	26	$\Delta 12$	$\Delta 4$	8	72	20	$\Delta 12$	0	
札幌市を除く	$\Delta 11$	14	59	27	$\Delta 13$	$\Delta 2$	8	71	21	$\Delta 13$	0	
札幌市	$\Delta 2$	13	64	23	$\Delta 10$	$\Delta 8$	10	72	18	$\Delta 8$	2	
業種	建設業	4	18	72	10	8	4	8	77	15	$\Delta 7$	$\Delta 15$
	製造業	$\Delta 6$	19	55	26	$\Delta 7$	$\Delta 1$	12	70	18	$\Delta 6$	1
	卸売・小売業	$\Delta 12$	7	51	42	$\Delta 35$	$\Delta 23$	6	66	28	$\Delta 22$	13
	運輸業	$\Delta 13$	13	60	27	$\Delta 14$	$\Delta 1$	7	73	20	$\Delta 13$	1
	サービス業	$\Delta 14$	14	61	25	$\Delta 11$	3	9	72	19	$\Delta 10$	1
地域	道南	$\Delta 24$	10	60	30	$\Delta 20$	4	9	70	21	$\Delta 12$	8
	道央	$\Delta 6$	16	59	25	$\Delta 9$	$\Delta 3$	9	70	21	$\Delta 12$	$\Delta 3$
	札幌市を除く	$\Delta 11$	19	54	27	$\Delta 8$	3	8	67	25	$\Delta 17$	$\Delta 9$
	札幌市	$\Delta 2$	13	64	23	$\Delta 10$	$\Delta 8$	10	72	18	$\Delta 8$	2
	道北	$\Delta 14$	8	64	28	$\Delta 20$	$\Delta 6$	7	76	17	$\Delta 10$	10
	オホーツク	$\Delta 12$	13	66	21	$\Delta 8$	4	3	81	16	$\Delta 13$	$\Delta 5$
	十勝	19	26	45	29	$\Delta 3$	$\Delta 22$	15	67	18	$\Delta 3$	0
釧路・根室	$\Delta 19$	10	62	28	$\Delta 18$	1	7	68	25	$\Delta 18$	0	

ウ 業況感BSIの推移

- ・業況感BSIは、2期連続で下降



(2) 雇用者の不足感(「不足」－「過剰」)

今期の雇用者の不足感BSIは47(前期から1ポイント下降)

- ・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業でプラス幅拡大、建設業、サービス業でプラス幅縮小
- ・地域別にみると、道南、道北でプラス幅拡大、その他の地域でプラス幅縮小

区分	H29年 10-12月 実績BSI	H30年1-3月実績					H30年4-6月見通し				
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計	48	49	49	2	47	△1	46	52	2	44	△3
札幌市を除く	48	49	49	2	47	△1	47	51	2	45	△2
札幌市	50	46	50	4	42	△8	42	54	4	38	△4
業種											
建設業	65	56	41	3	53	△12	55	41	4	51	△2
製造業	43	47	50	3	44	1	40	58	2	38	△6
卸売・小売業	29	35	60	5	30	1	33	62	5	28	△2
運輸業	57	63	37	0	63	6	61	39	0	61	△2
サービス業	50	47	53	0	47	△3	45	55	0	45	△2
資本金											
5千万円未満	46	45	53	2	43	△3	43	55	2	41	△2
5千万以上～1億円未満	54	60	36	4	56	2	60	35	5	55	△1
1億円以上	52	52	48	0	52	0	43	57	0	43	△9
地域											
道南	38	41	58	1	40	2	42	58	0	42	2
道央	46	47	50	3	44	△2	43	54	3	40	△4
札幌市を除く	43	47	50	3	44	1	44	53	3	41	△3
札幌市	50	46	50	4	42	△8	42	54	4	38	△4
道北	53	62	37	1	61	8	58	41	1	57	△4
オホーツク	59	56	44	0	56	△3	55	45	0	55	△1
十勝	57	48	52	0	48	△9	47	51	2	45	△3
釧路・根室	42	38	59	3	35	△7	34	63	3	31	△4

(3) 設備投資の状況（今期の実績）

- ・「設備投資をした」と回答した企業は32%で、前期と比べて2ポイント下降
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が73%、「生産・販売能力拡大」が24%、「合理化・省力化」が20%（複数回答）

設備投資の状況(H30年1-3月実績)(業種・資本金・地域別)

(%)

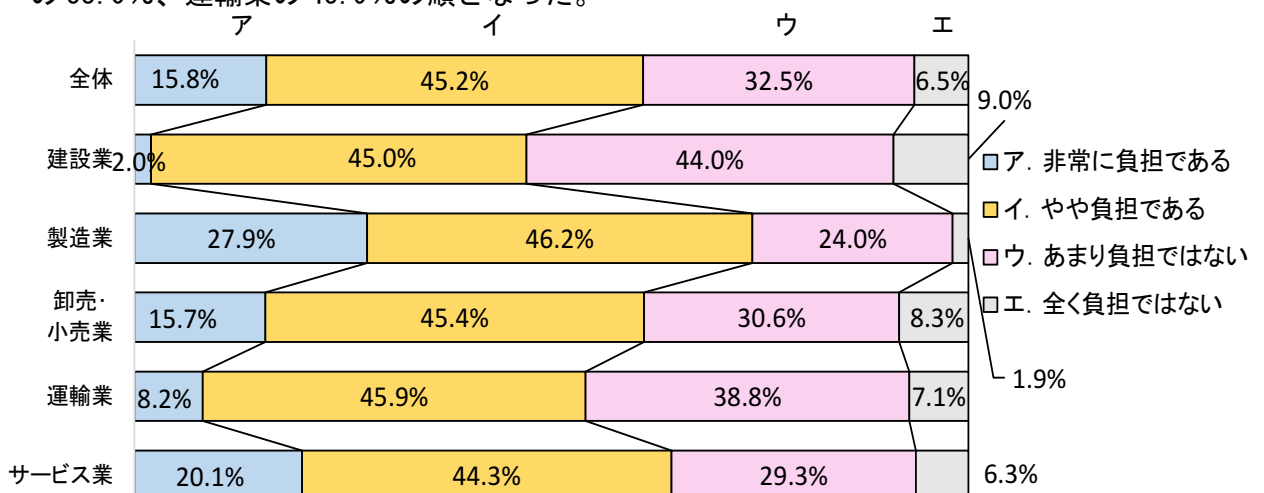
区 分	H29年10-12月 設備投資した	H30年1-3月 設備投資した	設備投資の目的(複数回答)						
			設備 更新	生産・ 販売能 力拡大	合理化 省力化	環境 保全	研究 開発	経 営 多角化	その他
総 計	34	32	73	24	20	12	4	3	2
札幌市を除く	31	31	76	20	18	8	5	3	1
札幌市	46	39	66	34	26	22	2	4	4
業 種									
建設業	29	35	71	17	20	6	3	3	0
製造業	46	40	64	36	26	17	10	2	0
卸売・小売業	28	24	59	33	30	19	4	4	7
運輸業	43	41	92	11	0	5	0	3	0
サービス業	28	27	76	22	24	12	4	4	2
資 本 金									
5千万円未満	27	28	71	23	16	12	4	4	1
5千万以上～1億円未満	37	33	77	17	23	14	0	6	0
1億円以上	59	53	77	30	28	9	7	0	5
地 域									
道南	28	28	68	11	11	16	0	11	0
道央	38	35	71	28	26	16	2	4	4
札幌市を除く	29	31	77	20	26	9	3	3	3
札幌市	46	39	66	34	26	22	2	4	4
道北	27	32	76	24	17	3	14	0	0
オホーツク	32	34	82	18	9	5	9	0	0
十勝	45	37	61	35	30	4	0	4	0
釧路・根室	27	21	100	0	0	15	0	0	0

2 特別調査

(1) 電気料金について

ア 現在の電気料金の負担感について（回答 571 社）

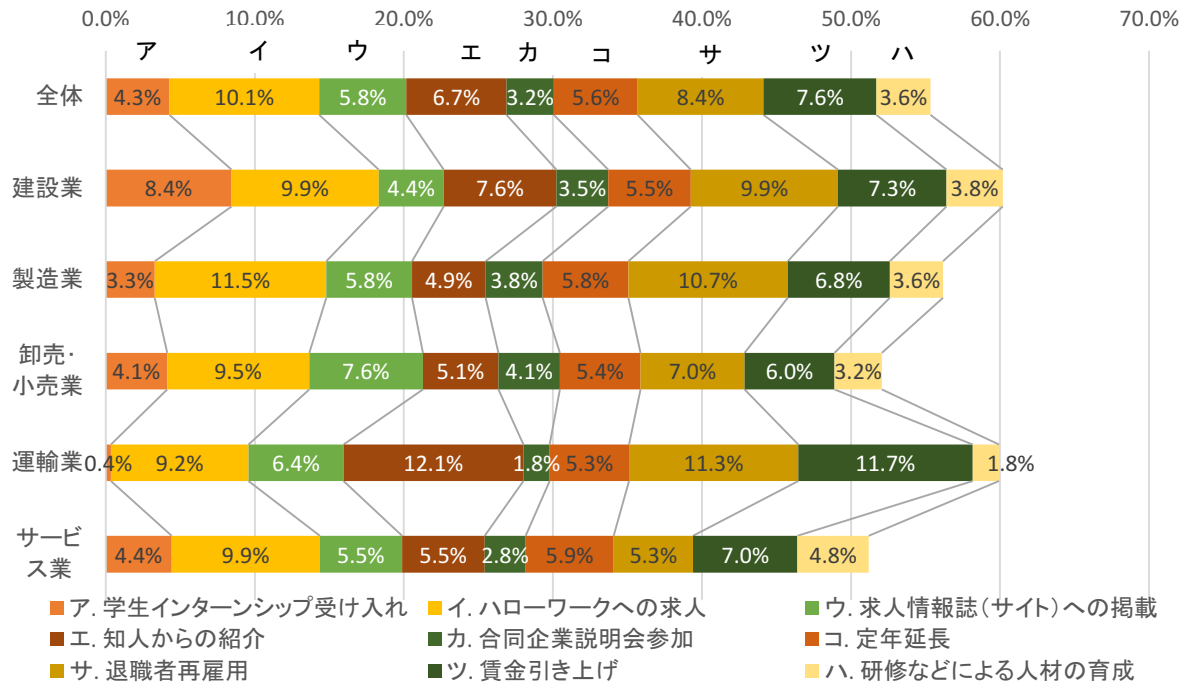
- ・負担に感じていると回答した企業（「ア」「イ」）は全体で61.0%、業種別では、製造業の74.1%、次いで、サービス業の64.4%の順となった。
- ・負担に感じていないと回答した企業（「ウ」「エ」）は全体で39.0%、業種別では、建設業の53.0%、運輸業の45.9%の順となった。



(2) 人手不足について

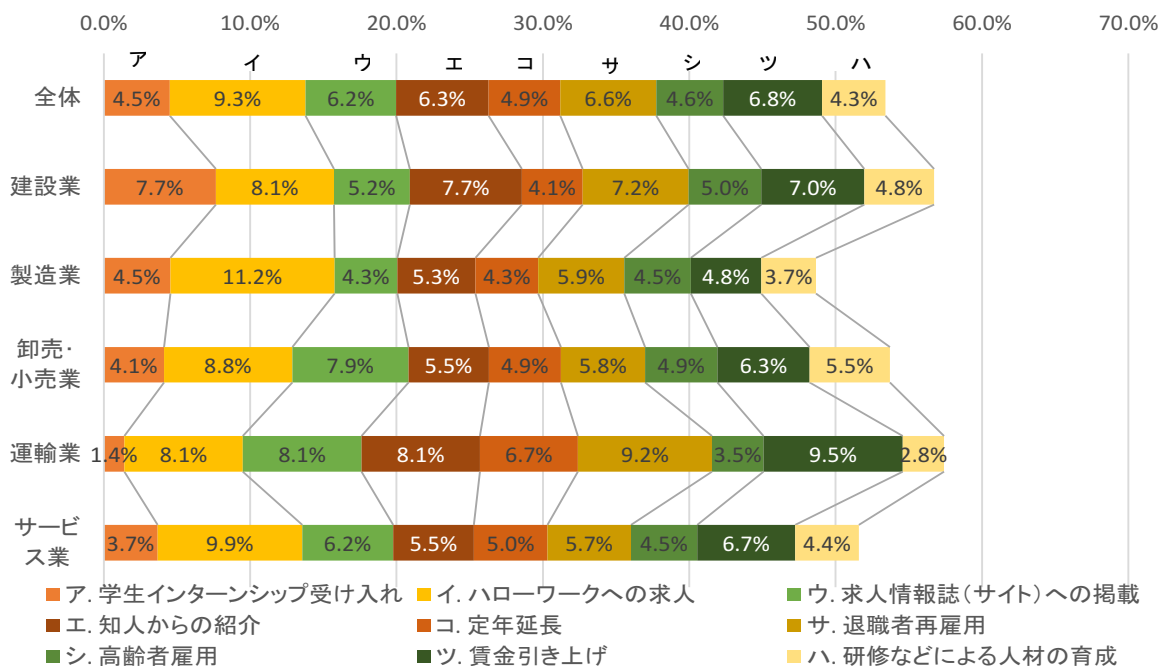
ア 人手不足の解消、緩和に有効だった取組について（回答 532 社）※複数回答

- ・全体では「イ. ハローワークへの求人」が 10.1%、次いで「サ. 退職者再雇用」が 8.4%、「ツ. 賃金引き上げ」が 7.6%の順となっている。
- ・業種別でみると、建設業と製造業は「イ. ハローワークへの求人」と「サ. 退職者再雇用」の割合が、卸売・小売業では「イ. ハローワークへの求人」と「ウ. 求人情報誌（サイト）への掲載」の割合が、運輸業では「エ. 知人からの紹介」と「ツ. 賃金引き上げ」の割合が、サービス業では「イ. ハローワークへの求人」と「ツ. 賃金引き上げ」割合が高くなっている。



イ 人手不足の解消、緩和に向けて今後実施したい取組について（回答 531 社）※複数回答

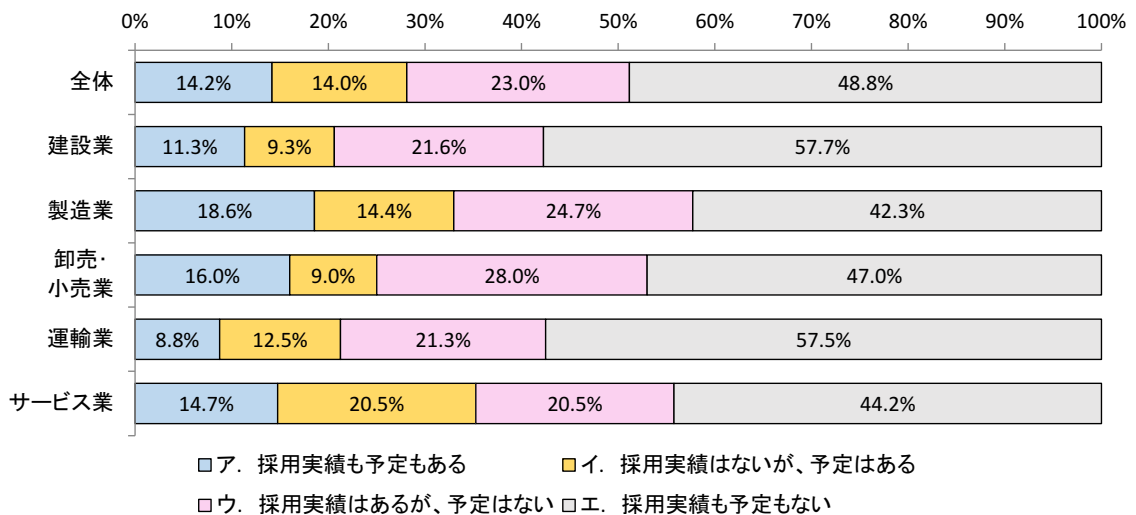
- ・全体では、「イ. ハローワークへの求人」が 9.3%、次いで「ツ. 賃金引き上げ」が 6.8%、「サ. 退職者再雇用」6.6%の順となっている
- ・業種別でみると、運輸業では「ツ. 賃金引き上げ」の割合が最も高くなっており、それ以外の業種では「イ. ハローワークへの求人」が最も高くなっている。



(3) 出産や育児等を機に離職した女性の活躍に関する今後の展望について

ア 出産や育児等を機に離職した女性の採用実績や予定について（出産・育児前に他社で勤務されていた女性を含む）（回答 532 社）

- ・採用実績や予定がある企業（「ア」～「ウ」）は全体で 51.2%（39.6%）、業種別では製造業の 57.7%（43.2%）、サービス業の 55.7%（47.2%）の順となっている。
- ・採用実績も予定もない企業（「エ」）は全体で 48.8%（60.5%）、業種別では、建設業の 57.7%（70.9%）、次いで運輸業の 57.5%（70.2%）の順となっている。
※括弧内は前回特別調査時



イ 出産や育児等を機に離職した女性が再就職できるようにするために必要なこと（回答 501 社） ※複数回答

- ・全体で最も回答が多かったものは「イ. 仕事と子育ての両立しやすい環境が社会の中で整うこと」で 26.9%となっている。一方で「ス. 特にない、わからない」も 9.5%あった。

